

郡上農林事務所の普及活動状況

令和元年 7 月 25 日現在

今月の重点活動

■GAP 岐阜県 GAP 確認制度取り組みに向けて農場改善指導

農業普及課は、郡上市高鷲地域において法人を設立し、今年からミニトマトを栽培している(株)フォレストィに対して、7月11日に岐阜県GAP確認制度管理項目に基づいた農場改善指導を行った。

今回は、実際にミニトマトを栽培しているハウス内の状況や、資材等の管理状況、必要書類の整備状況を見せてもらいながら、評価基準に適合しているか否か、適合するために改善すべき点などについて、同法人の2名と意見を交わしながら指導を行った。

今後は、明らかになった改善すべき事項を改善し、今年度中の岐阜県GAP確認制度申請を目指すこととしており、農業普及課では引き続き支援を行っていく。



【管理項目確認の様子】

多様な担い手づくり

■担い手 地域内の青年農業士相互の経営を視察

郡上地区青年農業士連絡協議会(会員7名)では、会員相互の経営状況を学ぶため、7月11日に視察研修を行った。

当日は、会員2名が経営内容、現在力を入れている事、今後の計画等について説明を行い、作目が異なる参加者は、新しい知見を得ようと熱心な意見交換がなされ、有意義な会となった

農業普及課は、青年農業士連絡協議会の活動について、行事内容への各種助言、調整の支援を行っており、今後も関係機関と連携を図り、青年農業士会の活動支援を続けてゆく。



【交流会の様子】

売れるブランドづくり

■エゴマ 除草機の実演研修会を開催

郡上地域では明宝地区を中心に古くからエゴマの栽培が盛んであるが、最近では土地利用型農業に取り組む生産者が、高付加価値品目として経営に取り入れるなど注目が集まっている。

こうした中、白鳥東部エゴマ栽培グループが本年度除草機を導入したことから、7月26日にJAめぐみのの協力を得て実演研修会を開催した。作業はグループ代表の原氏が10aを30分程度かけて行い、参加者は興味深く作業を見守った。

エゴマでは栽培期間中に使用できる除草剤が少なく、耕種的な防除を望む生産者も多い。農業普及課では地域の要望を見据えつつ機会をとらえて研修会等を実施し、栽培面積の拡大を推進していく。



【作業を見守る生産者】